

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.866
2020.2.23

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/

神田よしゆき	とば めぐみ
とりうみ敏行	金子 あきよ
松村 としお	たけこし 連
久保 みき	

2月議会・代表質問

新年度予算で 市民負担軽減にとりくめ



2月13日、代表質問に神田よしゆき市議がたち、2020年度予算案や保育・放課後児童クラブの待機児童解消など清水市長の政治姿勢についてただしました。

2020年度予算案は、一般会計及び特別会計合わせて8794億円で過去最高となりましたが、代表質問に先立っておこなわれた議案質疑で、市民の平均給与所得は373万3千円と、ここ数年で初めて前年比マイナスとなり、市民の暮らしも地域経済もかつてなく厳しい状況になっていることが明らかになりました。

神田 予算全体から市民のくらしの実態が見えてこない。市民負担減となった事業、また、負担増となった事業は。

市 市民負担が減った事業として、新生児の聴覚検査費用の一部助成など2事業。

神田 負担増については具体的に触れていない。来年度は国民健康保険税の引き上げや給食費の保護者負担引き上げなどが予定されているのではないかと。日本共産党の予算組み替え提案（表）こそ、市民の暮らしを支える予算。見解を。

市 各種基金の大幅な取り崩しによる、福祉、医療、教育などの予算の上乗せや水道料金の引き下げは、長期的な継続が難しく、多くの課題を抱えている。

神田市議は、「多額の基金の取り崩しが必要なのは、それだけ清水市政になって市民のくらしの負担を増やす政策が続けられてきたからだ。しっかりと市民のくらしの現状を見て、予算の中でも市民負担の軽減に取り組む

2020年度予算組み替え提案

新年度予算の約2.3%の組み替え

歳入	
1. 基金・積立金の取り崩し 財政調整基金、合併振興基金、水道事業会計利益剰余金など	159億 円
2. 繰越金	15億 円
3. 歳出のカット 議員海外視察費、再開発事業費、ビッグイベント、公マネ積立金など	36億 5600万円
歳入合計	210億 5600万円

歳出	
1. 市民負担の軽減 消費税負担分をなくす、上・下水道料金消費税引き下げ	47億 9000万円
2. 福祉・医療の上乗せ 国保税・介護保険料の引き下げ、保育料の引き下げ、学童保育指導員の処遇改善	92億 7000万円
3. 教育環境整備 少人数学級の実現、給食費補助、給付型奨学金の創設など	24億 円
4. まちづくり事業 災害対策・被災者支援、市営住宅の建設、道路改良、河川費上乗せ	30億 円
5. 産業・商店街・不況対策	14億 9600万円
歳出合計	210億 5600万円

日本共産党さいたま市議団

べき」と求めました。

保育所入所 2873 人が不承諾

続いて神田市議は、認可保育所の待機児童解消の目標と計画について質しました。

2019年4月時点での待機児童は393人でした。市は、増え続ける保育需要に応えるため2020年4月開所の認可保育所を16ヶ所新設し、1413人分の定員を増やしましたが、認可保育所入所申し込み者数は9026人にのぼり、承諾者が6153人、不承諾者が2873人であることが明らかになりました。約3人にひとりが、希望する認可保育所にはいれなかったこととなります。

市 2021年4月を目標に待機児童を解消する。来年度は28施設の認可保育所等の新設で2083人の定員増を図る。

神田 計画の前倒しで認可保育所の定数増を図ってきたが、保育士確保のための処遇改善に取り組んでこそ増設が図られるのでは。

市は「(保育士の負担軽減のため)用務員等の配置補助を創る」と答弁しましたが、保

育士の給与アップにつながる新たな処遇改善策はとられませんでした。保育士への処遇改善なしに施設整備を進めることはできません。

放課後児童クラブは 1566 人不承諾

次に、放課後児童クラブの待機児童対策について質問しました。市は、昨年1年間で19クラブを開設し、692人の受け皿を整備しましたが、利用希望者は年々増え続け、待機児童数は392人(2019年4月1日)、2020年4月入室の公立放課後児童クラブへの利用申込数は5342人、不承諾数(一次選考)は1566人にも上ります。

神田 市は民間学童保育の力で待機児童解消を図る計画だが、民間の運営はかつてなく厳しい状況。施設確保や運営面での補助の増額や、指導員を安定的に確保するための賃金の抜本的な引き上げができるよう国の制度なども最大限活用すべきだ。

市 民間学童保育への支援拡充に努め、公設・民設クラブ間の利用料等の格差是正を目指す。より速やかな開設が可能な民設の整備をすすめる。

神田市議は、「民間に頼るのであれば、それにふさわしい抜本的な運営費の補助が必要。同時に学童保育の整備は自治体に責任があり、市の責任放棄は許されない」と追及しましたが、市は国の制度の活用と、公共施設の活用を含めた整備をするとの答弁にとどまりました。

そのほか、環境問題と北区のまちづくりにについても質問しました。

2月議会・代表質問

ジェンダー平等の
さいたま市を実現するために

ジェンダー (gender) とは、生物学的な性別 (sex) に対して、「責任ある役職は男性になるべき」「家事・育児は女性がやるもの」など、社会的・文化的につくられた性差のことを指します。

2019年、世界経済フォーラムが発表したジェンダーギャップ (不平等) 指数で、日本は153カ国中121位となり、G7ではダントツで最下位となりました。

2月13日、2月議会の本会議で、とりうみ敏行市議が代表質問にたち、個人の尊厳とジェンダー平等について質問しました。とりうみ市議は冒頭で、「声をあげた人を孤立させず、声をあげられずに苦しんでいる人たちの痛みを自分の痛みとして、ともにジェンダー平等社会を実現するために決意を込めて質問する」と表明しました。

とりうみ はじめに、行政ではたらく職員の男女雇用格差と賃金格差を是正することは非常に重要だが、本市の正規職員数と非正規職員数、それぞれに占める女性職員の割合は。また、賃金格差についてうかがう。

市 正規職員は1万4367人、そのうち女性は6535人で比率は45.5%。非正規職員は1万624人、そのうち女性は5773人で比率は54.3%。週5日・1日5時間の臨時職員が約118万円であるのに対し、大卒採用1年目の常勤職員は約370万円。保育士では勤続6年未満のフルタイム勤務の臨時職員が約247万円であるのに対し、短大卒採用1年目の常勤職員は約343万円。常勤職員と非常勤職員との間にある処遇格差をひとつひとついねいに埋めていくことが意味を持つと考えている。

とりうみ 政策・意思決定の場への女性の登用について。行政職の課長職以上の人数と比率はどうなっているか。

市 局長級が3人 (7.9%)、部長級が5人 (7.9%)、次長級が15人 (8.5%)、課長級が107人 (29.6%)。教職員は管理職総数359人のうち55人が女性で比率は15.3%。

とりうみ市議は「政策・意思決定の場に女

性がいなければ、女性の意思は反映されにくいまま。女性管理職を登用するために、いままです以上に努力してほしい」と求めました。

性暴力被害から女性を守れ

とりうみ 女性に対する性暴力も重大な問題だ。内閣府の調査では性暴力被害者の6割が「どこにも相談しなかった」と答え、苦しみを抱え込んでいる実態が示された。警察に相談した人はわずか3%。本市の相談および支援体制はどうなっているか。

市 市民生活安全課のなかに犯罪被害者支援等総合対応窓口を設置している。

とりうみ その窓口への相談件数は。

市 平成30年と平成31年はいずれもゼロ件。

とりうみ市議は「性犯罪をなくす立場から、刑法の見直しについて国に意見をあげるべき」と求めましたが、市は「国の動向を注視する」との答弁でした。

「全世代型社会保障」で福祉が削減

とりうみ 安倍政権がすすめる「全世代型社会保障改革」について。「市長は議会にお

いて『消費税は福祉の財源をしっかりと確保するうえで必要な税源である』と答え続けてきた。しかし国の「検討会議」では、基礎年金の3割削減、介護利用料の原則2割負担への引き上げと要介護1と2の生活援助の保険給付外し、国民健康保険税の法定外繰り入れに対するあらたなペナルティ導入、保育における公定価格の引き下げなど、一連の福祉削減が狙われている。市長の答弁と真逆のことがおこなわれようとしているではないか。

市 消費税増税分は幼児教育・保育の無償化や保育士の確保などに使われる。また低所得者の介護保険料の軽減の財源にもなる。消費税が福祉の財源であるという認識は変わらない。

とりうみ市議は「社会保障の財源に消費税をあてる国は日本以外にない。このような大改悪は中止するべきだ」と求めました。

さらに、とりうみ市議は「高齢者の負担増は、高齢化した親の介護を担うことになる現役世代をも直撃する」として、南区で突然事業所を閉鎖したデイサービス事業「ハートランド浦和」の例をあげ、「全世代型社会保障」の改悪が市民に与える負担についても市の対応を求めました。

あなたの身近な議員です



市議(北区)

神田よしゆき



市議(浦和区)

とりうみ敏行



市議(緑区)

松村としお



市議(桜区)

久保 みき



市議(見沼区)

とばめぐみ



市議(南区)

金子あきよ



市議(中央区)

たけこし連